

(一社)量子アプリ社会実装コンソーシアムとの業務受託契約について

2019.10.1

パインバレー研究企画（以下 当社）は、国立大学法人大阪大学が発起人として設立登記した（一社）量子アプリ社会実装コンソーシアム（代表理事 中野貴志）と、その事業運営に関するコンサルティング業務を受託する契約を締結いたしました。

（一社）量子アプリ社会実装コンソーシアムは、日本科学技術振興機構事業である OPERA プログラムに採択された、量子アプリ共創コンソーシアムにおける研究成果を事業化することを目的に、令和元年 8 月に設立された非営利法人です。

その設立過程に当社は創業前より深くかかわり、今後の量子アプリ社会実装コンソーシアムの事業運営の支援を引き続き担っていくことを目的に、今回の業務委託契約を締結することとなりました。

量子アプリ社会実装コンソーシアムは、量子関連技術の事業化として、大きく二本の柱を掲げています。一つが放射性ガン治療薬（注射剤）の開発であり、いま一つは宇宙線による半導体誤動作（ソフトウェア）の評価・認証事業になります。医薬品開発に永年の関わりをもつ当社としては、量子アプリ社会実装コンソーシアムの理念に深く賛同し、その事業運営の支援に邁進していく所存です。

この場をおかりし、関係者の皆さまの力強いご支援を賜りたく、心よりお願いを申し上げます。この場をおかりし、関係者の皆さまの力強いご支援を賜りたく、心よりお願いを申し上げます。

パインバレー研究企画
代表

松谷 悦哉